



## 資料情報

### 足寄にきたシャチは13歳

#### 「西部北太平洋のシャチ」研究集会

国立科学博物館で、2月16・17日開催された「西部北太平洋のシャチ」に関する研究集会で、昨年2月に羅臼町相泊で集団死したシャチについて集中的な研究発表がありました。足寄で預かっている個体についての発表をいくつか紹介します。

**年齢=13歳** 足寄にきた個体AKW-2はオトナのメス5体の中でもっとも小さく、若いと考えていました。現在は骨格標本にするため土に埋めていますが、昨年夏に試掘して歯だけ抜き取りました（館内で展示中）。うち2本を、東京大学海洋研究所の天野雅男さんが、断面に見られる年輪のような成長線を数え年齢査定しました。その結果、AKW-2は13歳。歯根の表面にあらわれた成長線も確認できます（右の写真を見てください）。



**子どもは未確認** 羅臼のシャチの群れは、オス1頭・メス5頭・新生児（乳児）3頭が回収され、ほかに子ども1頭・メス2頭の全体で12頭でした。国立科学博物館の角田恒雄さんは回収した個体から試料を採取し、DNAを分析して血縁関係を調べました。羅臼の解体現場では、AKW-2は泌乳していた（乳腺にお乳があった）ことから「母親」と判定しましたが、遺伝子解析の結果その子どもは確認できませんでした。

AKW-2の子どもは回収できなかったか、自分の子どもはいなかったが共同で子育てするために泌乳していた、この二つの可能性がありそうです。シャチの生活の仕方（生態）はまだほとんど分かっていないので実体は謎として残されました。

**おなかいっぱい** 食物を貯める胃（第1胃）の中からは、全部で1676グラムの食物の残りが回収できました。東京海洋大学の谷田部明子さんの分析では、アザラシの歯や骨が307個、イカのクチバシが336個です。肉の部分は消化されていました。

研究が進んでいるカナダ～アメリカの太平洋沿岸のシャチは、アザラシやイルカなど哺乳類を食べるものと、魚（とくにサケ）を主食とするもの、魚やイカを食べるものに分かれて生活するそうです。食べ物に関係した生活スタイルも今後の課題です。

科学博物館のホームページに、羅臼のシャチの研究が紹介されています。

<<http://svrsh1.kahaku.go.jp/orca/index.html>>をご覧ください。館内でも研究の様子を紹介します。

## 芽登小学校 地球の歴史カレンダー 調査

芽登小学校3・4・5年生は、17年度の総合的な学習の時間で、「地球の歴史カレンダー」の製作に取り組んできました。

10月25日には、螺湾～茂螺湾で、500万年～2500万年前の地層を調査して貝の化石を発掘しました。時代や場所によって、地層の硬さや貝殻が残っている様子がちがっていることを身体で学びました。

2月8日には、博物館で、カレンダーづくりの調査をおこないました。展示室に並んでいる標本や床の石材にうもれている貝の化石、秘密の部屋（収蔵庫）にあってふだんは見ることのできない化石や骨格標本などを探って写真に記録しました。

その写真を大型の日めくりにはりつけます。46億年といわれる地球の歴史を1年のカレンダーに縮めたときに、何月何日にどんな生物が出現したのかをあらわそうというねらいです。アショロアやベヘモトプスなど足寄の化石、一番古いクジラ＝パキケトゥス、そして、われわれ人類は、何月何日（何時何分）に誕生したのでしょうか。



化石収蔵庫の探索



展示室の床の石材表面に古生代の貝化石を発見

休館日 || 3月 7日（火）、14日（火）、22日（水）、28日（火）

博物館の動き 2月・3月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

|    |     |               |
|----|-----|---------------|
| 2月 | 16日 | 羅臼のシャチ研究中間報告会 |
|    | 17日 | 国立科学博物館（澤村出席） |
| 3月 | 9日  | 足寄小学校         |
|    | 10日 | 3年生のみなさん      |

### 行事案内の予定

探鳥会は3月号、  
あしよろ化石教室は4月号  
でお知らせする予定です。